

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 049	提案機関名 農業技術センター
要望問題名 白首ダイコンの栽培特性の解明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模 (面積、数量等) 】 白首ダイコンについて、現地試作を行ったところ、裂根率の高い試作圃場が見られた。 既知の知見によれば、根菜類の裂根は、多肥栽培や土壌乾燥後の多雨で助長されるなど、栽培方法や栽培環境により大きく影響を受けることが示されている。 今回の裂根率が特に高い試作圃場は、直売用に葉ダイコンと兼用出荷のため、本葉14~15枚で間引きが行われており、間引き時期の遅れが裂根発生を助長したことが窺われた。 ダイコン生産において、裂根発生を抑制することは重要であるので、裂根と間引き時期の関係について試験し、間引き適期を明らかにしていただきたい。間引き適期については、白首ダイコンの栽培指針に反映し、生産振興を図りたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2~3年以内 <input type="checkbox"/> ③4~5年以内 <input type="checkbox"/> ④5~10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター②畜産技術センター③水産技術センター④自然環境保全センター
備考 ダイコンについて多くの研究実績のある三浦半島地区事務所で研究をお願いしたい。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 野菜類の新品種育成		
対応の内容等	白首ダイコンの栽培特性については、昨年度の現地試験で、青首ダイコンの1品種(裂根率0%)と比較して、‘湘白’の裂根率が約17%と高いデータが報告されており、昨年試作した県内の15圃場のうち5カ所で裂根があることが示されています。しかし、ほとんど裂根が発生していない地域もあるため、栽培適地や栽培方法が影響していることが考えられます。この結果を受けまして、今年度は栽培方法によって裂根の発生を抑えることができるかどうかを検討するため、栽培密度と裂根との関係を明らかにします。 要望に記載されている本葉14~15枚での間引きは、5~6葉期に間引きを行う通常行われているダイコンの栽培方法から考えると変則的ですが、間引きを本来の方法よりタイミングを遅らせることが裂根を助長する要因であるのかを確認します。		
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2~3年以内 <input type="checkbox"/> ③4~5年以内 <input type="checkbox"/> ④5~10年以内		
備考			